

新町小学校だより



～かしこく こころゆたかに
たくましく生きる 新町の子～



学校ホームページ

令和6年度 第12号
令和6年 10月25日
津市立新町小学校

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から(6年)

4月18日(木)に6年生を対象に「令和6年度全国学力・学習状況調査」を実施しました。今年度は国語・算数の2教科で実施し、先月、その結果が学校に届きました。本校の6年生は、以下に示す通り、国語・算数どちらにおいても、県平均・全国平均を上回る結果となりました。

	平均正答率	
	国語	算数
新町小	◎	◎
三重県	67.0	62
全国	67.7	63.4

(◎は県の平均に対し平均正答率が5ポイント以上上回ることを示しています。)

<国語・算数の学力調査の結果から>

国語においては、学習指導要領の内容の「知識及び技能」の3観点と「思考力、判断力、表現力等」の3観点全てで県平均・全国平均を上回りました。その中でも「話すこと・聞くこと」「読むこと」「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率は県平均より10.2、6.5、6.7ポイント上回っていました。また、記述式の問題形式での正答率も県平均より6.3ポイント上回る結果が出ました。

算数においても、学習指導要領の内容の4観点全てで県平均・全国平均を上回りました。その中でも「変化と関係」「図形」「数と計算」の平均正答率は県平均より10.1、8.9、8.8ポイント上回っていました。また、記述式の問題形式での正答率も県平均より12.8ポイント上回る結果が出ました。

<国語・算数についての児童質問紙から>

県平均と比べ、ほとんどの項目で**肯定的回答をした児童の割合が高い結果**が出ました。いくつか抜粋して紹介します。(※肯定的回答とは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計)

- ・国語の勉強は好きか(+3.6)
- ・国語の授業内容はよく分かるか(+3.6)
- ・国語の授業で目的に応じて伝える内容を考えているか(+3.8)
- ・国語の授業で自分の考えが伝わるよう工夫して文章を書いている(+0.4)

- ・算数の勉強は好きか(+19.4)
- ・算数の授業内容はよく分かるか(+5.9)
- ・算数の問題の解き方が分からない時、あきらめずにいろいろな方法を考える(+4.4)
- ・算数の授業で学習したことを今後学習に活用しようとする(+7.4)

以上の結果から、国語や算数の授業の内容をよく理解し、学習活動に積極的に取り組んだり、自分なりに工夫したりしている子ども達が多くいると判断できます。また、記述式で解答する問題に対して、最後まで解答を書こうとした児童の割合を県平均と比較すると、国語で+6.0、算数で+5.8高いことから、難しい課題にも粘り強く取り組んでいることも明らかになってきました。

子どもが主体となって学び合う授業

本年度の学力調査の結果や普段の授業の様子から、6年生の子ども達が国語や算数等の授業に意欲的に取り組み、疑問や問題意識をもって粘り強く学ぼうとしており、その結果、学力も定着していると判断することができます。これは、日々の授業が、以前のような教師の説明を静かに聞き、教師が言う正解を覚えたり黒板に書いたことをノートに写したりといった一斉授業中心から、タブレットや様々な資料等を活用しながら、追求したい問いに主体的に関り、友だちとともに学び合うスタイルに授業を変えてきている結果が表れてきていると言えます。

授業の中で、子ども達に自分が追求したい問いをはっきり持たせて、友だちと考えを共有したり、違う考えの友だちと意見交流したりする場を設定することで、子ども同士の学び合いが推進され、「わかった」「なるほど」「できた」といった声が子ども達から聞こえてきます。こういった子ども同士の学び合いを続けていくことで、学力も定着していき、「もっと調べてみたい」「難しいことにも挑戦してみたい」といった子どもが主体的に学びに向かう姿や「みんなに認めてもらえて嬉しい」「勉強に自信がでてきた」といった自己肯定感の涵養にもつながっていくと思います。

私たち教師は、日々の授業が、子どもが主体となって学び合うものとなるよう、今後も研修と実践を重ねていきたいと思っています。



<児童質問紙 その他 顕著なもの>

県平均より **肯定的回答をした児童の割合が高い項目(抜粋)** → **学校では**

- ・授業でタブレットを毎日使用した。(＋34.6)
- ・自分にはよいところがある。(＋5.6)
- ・学校に行くのは楽しいか。(＋5.4)
- ・先生はあなたのよいところを認めているか。(＋5.4)
- ・自分で学び方を考え工夫しているか。(＋5.1)
- ・将来の夢や目標を持っているか。(＋3.7)
- ・考えがうまく伝わるよう工夫して発表したか。(＋3.3)
- ・人が困っている時に進んで助けているか。(＋2.9)
- ・友だち関係に満足しているか。(＋2.3)
- ・困りごとや不安なことを先生等に相談できるか。(＋2.1)
- ・人の役に立つ人間になりたいか。(＋1.2)

概ね、よい人間関係の中、子ども達が学校生活を送れている様子が伺えます。引き続き、子ども達の頑張ったところや工夫したところ等を教師が把握し、しっかり評価していくことで、子ども達が意欲を持っているいろいろなことに活動していけるよう支援していきます。また、頑張っている子の様子を他の子にも伝えていくことで、集団としての成長を促したり、子ども達の自己肯定感を高めたりもしていきます。

タブレットについては、現在、授業の様々な場面で積極的に活用することで学習効果が高まっています。今後も積極的に活用をしていきます。

県平均より **肯定的回答をした児童の割合が低い項目(抜粋)** → **学校では**

- ・普段の生活で幸せな気持ちになることがあるか。(－4.1)
- ・学級での話し合いを生かし、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいるか(－3.9)
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。(－3.8)
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいか。(－2.5)
- ・学習内容の分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげているか(－2.2)

普段の話し合い活動が、子ども達の疑問や問題意識の解決になっているか、話し合ったことが次の活動につながっているか等について確かめるよう努めていきたいと思っています。また、子ども達一人一人の様子をしっかり見て、困っていたり悩んでいたたりする子がいないか把握し、支援するような働きかけを進めて行きます。

県平均と比べるとそう変わりませんが、全国平均と比べると、「**1日当たり1時間以上勉強する割合**」は、**平日で5.2、土日で8.6ポイント低い結果**が出ています。学校でも宿題や自主学習等を通じて家庭学習について指導していきますが、ご家庭でもお子さんが家庭学習に取り組むよう声をかけたり、頑張って取り組めた時に認めて評価したりしていただければと思います。

